

# サポセン mail

No.173.2017.9.18発行

〈発行元〉 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター  
千葉県緑区菅田町 2-25-78 ｱｰﾙ菅田 TEL&FAX 043-308-4436  
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp  
URL:http://saposen.konjiki.jp/

7月あそび塾

## 緑の森でバーベキューと星空観察！



7月17日、こども達は夏休みに入っています。昭和の森の近く小山町の細い道を抜けると緑の環協議会が整備している森があります。いつものあそび塾の集まる時間とは違い15時からの集合となりました。あそび塾の大人15名、幼児3名、子ども14名、外部子ども6名、大人10名、3団体が集まりそれぞれ団体紹介をし、今日の予定と草むらに入らないなどの注意事項を子ども達と確認しました。

まずは夏ならではのスイカ割りです。

スイカが2個用意しており、同じ年齢の子でジャンケンをし、2グループに分かれて行いました。小さい子から1人ずつタオルで目を隠し、竹の棒を持って、小学生からはその場でくるりと一回転をしてスタートです。自分ではスイカに向かって進んでいるつもりでも違う方向に歩いたり、周りの声に右へ左へ迷ったり、軌道修正しながらスイカを目がけて棒を振り下ろします。

こうすけ君はスイカに見事に当たりましたが、ヒビが入る程度でした。パカンと割りたいので、もう1回したいと強く訴えましたが、次々順番が回っていくうちに高学年がスイカに当たると割れてしまい1人1回で終わりにになりました。食べる時にも“もう1回したかったな”と悔しそうに話していました。スイカも甘くて美味しく喉を潤してくれました。

まこちゃんとみずき君はスイカの赤い部分が白だけになるまできれいに食べていました。“上手に食べれるね”と言うと食べた後、得意げに“ここまで食べれたよ”と何度も見せに来てくれました。食べた後の皮は、地面をスコップで掘った穴に埋めました。つばさ君はスコップに足を乗せ、上手に体重をかけて掘っていました。

自然の中で壮大な宇宙の太陽系のお話を聞かせてくれました。

入口を入ってくるとオレンジの丸いものがおいてあり、  
(4ページへつづく)



説明を聞いて太陽だとわかりました。太陽と惑星についての大きさや惑星との距離がわかるように配置され、いかに太陽が大きいかわかりました。何人かはおいてある惑星の看板から次の惑星への距離を走って移動していました。自分たちの住んでいる地球がどここの位置にあるのかわかりやすかったです。

### 作った後も楽しく遊べる竹の水鉄砲作りです。

竹は、切ってヤスリをかけてあり、その竹の棒にスポンジを巻き、その上から布を巻いてタコ糸で留めると出来上がりです。なごみちゃんは、最初、遠巻きに見ていましたが、声をかけると手際よく作り始めました。スポンジをまいてある棒が竹にピッタリとはまり、水を入れて押すと勢いよく飛んでいました。つばさ君のお父さんは子供たちと楽しそうに水を掛け合ってびしょびしょになっていました。

### 太陽系の話と水鉄砲で遊んだ後は、待っていたバーベキューとなりました。

それぞれの家庭から持ってきた食材を、鉄板の上でのせ焼き始めました。ウィンナーも棒付きと色々な種類があり、なすやズッキーニ、しいたけなど所狭しと鉄板を埋め尽くしていました。子ども達も自分が食べたい食材を取りに来て食べていました。かやちゃんは持ってきたおにぎりを鉄板の上に置き、焼きおにぎりしていました。

焼けるのを待つ間、お母さんたちも食べる話で盛り上がり、緑の環協議会の方にとうもろこしは皮つきで茹でるとしわしわにならないなど料理方法を教えて頂きました。緑の中と言うこともあり、外で食べるご飯は格別に美味しく感じました。最後にマシュマロを箸にさして焼いて食べていました。森の中は電灯がなく日が落ちると真っ暗になりますので、明るいうちに鉄板やブルーシートなど片付けをしました。



### ホタルは見れるかな？

広場から水辺に暗い道を1列になって降りて行き、水辺に着く前から1匹2匹と飛んでいるのが見え始めました。

時間がたつにつれ、どんどん見え始め幻想的でした。

10ヵ月、土の中にいて1週間だけ出てきて光って結婚するので、むやみにとったりしないようにねと説明を受け、光って結婚できるといいねと真剣に見ていました。近くを飛んで来た時は間近で見れ嬉しくなりました。ホタルが生息できるきれいな水や自然が残っているので、大切にしないといけないと強く感じました。

### 星は見れるかな？

あいにくの曇り空で1番星の金星は見えましたが、他の星は雲に隠れて見えませんでした。もし見えていたらこんな星空になると、タブレットで説明してくれました。星が見れず残念でしたが、予定より早めの解散となりました。ご協力有難うございました。(記 大塚)

うなかみ

# 海上キャンプ場でやってみよう！

## 誰でも最初は初心者だ！中学生が大活躍！

「キャンプに行きたい。今年はどうしても行きたい。バスレクをしたい。」中学生の熱い思いが青年たちを動かしました。今年の子どもキャンプは8月11日から13日まで千葉県旭市の海上キャンプ場に行きました。参加者は子どもが女子だけの9人（A4班と六太郎班）、スタッフ9人の総勢18人でした。キャンプの企画やテーマソング作り、しおりなどを中学生が青年の協力で作り上げました。

初日：10時に土気ブランニューモール内のフードコートに集合して、1日目の食材の買い物をしてからバスに乗り込みました。バスの中ではみんなでしりとりをしました。といっても前の人が出た言葉をすべてつなげていく「記憶しりとり」です。15人で2周回して30の言葉がつながった最後はキャンプでした。キャンプ場に到着してお弁当を食べました。そして雨の予



報だったことからキャンプ場から借りた三角テントを地元のおじいちゃんのおかげでわからない言葉の指導を受けながらみんなで協力して建てました。次いで開村式をして夕食作りに入りました。メニューは2班ともにチャーハン。中学生を中心にてきぱきと準備が進みました。調理の邪魔は信じられないくらいたくさんの蠅です。幾度となく追いやりながら夕食が出来上がりました。みんなで作った食事の味は最高です。あっという間に完食しました。夕食のあとはキャンプファイヤーです。ほら踊りをしながらファイヤーに点火、ゲームをして踊りを踊って歌を歌って楽しい時間を過ごしました。1日目のテントの中は疲れたのか、静かに寝入ったようです。

2日め：予報通り、未明から雨が降り始めました。6時30分に起床して、そば降る雨の中、朝食をとりました。朝食

はパンとシリアル、ソーセージ、塩キャベツ、スープでした。水遊びの予定を変更して、午



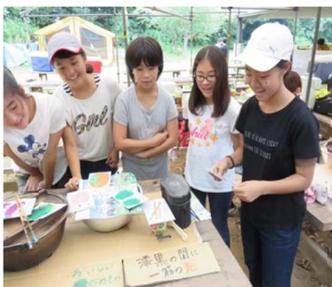
前中は体育館の活動室でゲームをしてすごしました。キャッチ、本部入電そして待望の人間はぎ、さらに子どもたちによる青年はぎを思いっきり楽しみました。お昼はヌードル。A4班は冷やし中華、六太郎班は焼うどん、スタッフは再現チリトマトヌードルを楽しみながら作りました。どれもおいしくいただきました。午後からは雨がやんで恒例のスタッフ企画「めしとりゲーム」です。突然、食材の神が出現して、風力発電のある滝の里公園に連れていかれました。そこでなぜかトイレの神様も加わりゲームを通じて食糧の大切さを教えてもらいました。子どもたちは食材を見つけて取り合い、いや奪い合いました。最後には班までも組み換えられ、新たな仲



間とその食材で縛りルールのもとに夕食を作ることになりました。キャンプ場に戻り食材を受け取ったら、新たなグループとゲームで獲得した食材とお米とでどんなものを作るのか、相談から始まりました。意外と早く決まったようです。分担が決まり、さっと調理に取り掛かり



ました。スタッフはキャンプといえば串焼き？焼き鳥などを作りました。出来上がった料理はみんなに披露して会食です。それぞれに工夫をこらした料理が並びました。久々にあっと驚く、得体のしれない姿の料理が登場しました。しかし、食欲は強し、全員ですべてを食べつくしました。後片付けが終わったら日が落ちた中で集合写真を撮影しました。このあとは中学生の持ち込み企画の胆試しです。キャンプ場の体育館脇を使って胆試しをしました。真っ暗な場所に加えて、中学生の考えた凝った演出はリアルすぎて泣き出す子どもも出現するほどでしたが、みんなと一緒に楽しみました。中学生もやり切った感満載の笑顔でした。2日めのテントは興奮冷めやらぬ様子で話し声が続いていました。



3日め：いい天気です。6時30分に起床しました。みんなおなかがすいた様子で早起きしたことから早めの朝ご飯をいただきました。そしてテントを撤収しました。

ここでも中学生が中心となって全部のテントをたたんでくれて、スタッフは大助かりでした。資材の確認も毎回の片づけをきちんとしていたのでスムーズに終わり、時間に余裕ができました。キャンプ場の退場時刻まで中学生がしおりにのせた歌を歌ったり、ボール遊びをしました。管理人室で退場の挨拶をして滝の里公園に場所を移して閉村式をしました。公園に設置されているロープの塔で遊んだりした後にお昼のお弁当を食べて、バスに乗り込みました。疲れから眠ってしまう子どもたちがいまいましたが、やはり帰りのバスレクはこれ！青春の大合唱が始まりました。創造の柱に無事に帰りつき、解散式をして今回のキャンプは無事に終了しました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。また安全のために急遽、キャンプ場を変更させていただきましたことをお詫び申し上げます。（山倉 記）

